

2026 年 筑波・富士 FJ1500/Super FJ 選手権

2026 TSUKUBA Challenge Clubman Race Round 3

2026 年 8 月 30 日 天候:曇り 参加 18 台 (FJ1500/7 台、S-FJ/11 台)



テキスト: 秦 直之

全9戦で争われる筑波・富士シリーズは筑波サーキットで第 6 戦を迎える。そして、W タイトルとなる全国転戦の「FJ ジャパンリーグ」は、これが第 5 戦となる。

「FJ ジャパンリーグ」では#52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)がトップで、6 ポイント差で追いかけるのは吉田馨選手ながら、今回は出場せず。エントリーしているドライバーでは#77 光山勇正選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)や#51 切替悠喜選手(ファーストガレージ RSD 制動屋)、#14 鈴木大翔選手(ZAP SPEED KK-F)がトップ 10 につけている。この中で#51 切替選手だけがスーパーFJ で、第 3 戦・富士では総合でも 3 位に。今回は何台の FJ1500 斬りを果たすか注目される。

筑波・富士シリーズの FJ1500 は、3勝を挙げている#52 酒井翔太選手がトップ。しかし、第 1 戦を欠場しているため、まだ絶対的なリードは築けていない。対してスーパーFJ は、#51 切替悠喜選手の独壇場。開幕 5 連勝を飾り、今回早くもタイトルを手にする可能性が。もちろんライバルの結果次第でもあるが、いちばんわかりやすいのは、自ら勝って 6 連勝とすること。これに勝る条件は、他にない。

■公式予選

土曜日に雨が降り、日曜日も早朝に小雨が舞ったため、路面状態が気になるところだったが、8時20分の予選スタート時には一部にウェットパッチを残すのみに。

筑波では予選の走行順がランキング順と決まっているため、先頭を切って走り始めたのは、もちろん#52 酒井選手。計測1周目から59秒275を記し、トップに立つと次の周には58秒824まで短縮。#77 光山選手が58秒864で続く。計測3周目には#52 酒井選手が58秒659を記すも、#77 光山選手と#51 切替選手が58秒645を、ほぼ同時に記録して上回る。だが、それを知ってか知らずか、#52 酒井選手は計測4周目に58秒430を、さらに計測5周目には57秒889にまで短縮し、8月だというのにレコードタイムにあと一步まで迫ることに。この時点で2番手は#77 光山選手の58秒269、3番手は#51 切替選手の58秒498。その後の#52 酒井選手はタイムアップならず。#77 光山選手が58秒143、#51 切替選手が58秒297にまで縮めるも、#52 酒井選手には及ばず。折り返しを過ぎたあたりから、全体的にタイムが伸び悩む中、第1ヘアピンでコースアウトした車両があり、赤旗が提示されてしまう。そのまま終了かと思われたものの、なんと残り2分で計測が再開。1周が短い筑波だけにワンアタックは可能とはいえタイムアップした選手は皆無。#52 酒井選手に至ってはコースインさえせず。その結果、#52 酒井選手がポールポジションを獲得し、2番手が#77 光山選手。続いて#51 切替選手がスーパーFJのトップとなり、4番手は58秒530を記録していた#14 鈴木選手。そして5番手はスーパーFJで2番手となる#72 須藤叶多選手(ELEVレーシング KKSII 制動)で、58秒639をマークしていた。そして#48 石井大雅選手(ファーストガレージ KK-F)を挟んで、#3 秋山健也選手(スーパーウインズ KKS2)がスーパーFJの3番手につけるとともに、ジャパンリーグにおける40歳以上を対象とした「FJ マスターズクラス」のトップとなっていた。

ポールポジション(FJ1500): #52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「最初、出ていった時は、チョロチョロっとウェットパッチがあるぐらいで、そんなに影響するほどじゃなかったんで、普通に温めれば、普通にタイム出るかな、という感じでした。路面温度も低いですし、タイムも出るだろうな、ってコンディションだったので、しっかり最後までめ切れて良かったなと感じています。途中コンマ2ぐらい詰められたかな、と思ったんですけど、いろいろトラフィックとかもあって、途中の赤旗もあって、ちょっと最終的に出し切れてはいないと思うんですけど、無事ポールは獲れたので、そこは良かったかなと。このままスタート決めて、序盤の速さ活かして、頑張ります！」



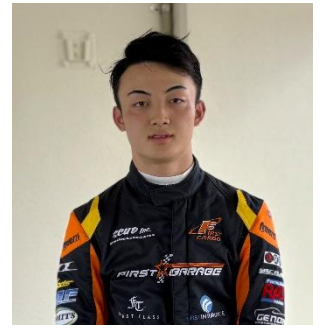
予選2番手(FJ1500): #77 光山勇正選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)

「ところどころ濡れているところがあったんですけど、全然支障なく普通に走れましたし、思っていたよりグリップしていたので、そんなに走りにくい路面ではありませんでした。前とか、前の前のレースに比べて、成長はできているので、けっこう走りはすごく良くなってきているんですけど、もうちょっと絞り出せる……のが必要かなと思っています。筑波はとにかくスタートが鍵なので、うまいことスタートで前に出られたら、という感じは持っているんですけど、ペースはちょっと向こうのほうが速いので、スタートが重要じゃないでしょうか」



予選 3 番手(スーパーFJ 予選トップ): #51 切替悠喜選手(ファーストガレージ RSD 制動屋)

「若干、終始ダンロップの出口が濡れていて、滑りやすくはあったんですが、気温がそこまで上がらなかったで、それなりの、前回のレースと変わらないタイムなんですけど、あんまりコンディションは良くなかったです。優勝すれば、他の人の順位、関係なく決まるんですか？ そうですか、でも、そこはあんまり考えず、とりあえずチャンピオン獲れば、筑波あんまり走ることなくなっちゃうので、悔いのないようにというか、総合でも 3 番手ですし、攻めの姿勢で行きたいと思います。一応、来年の FIA-F4 出る条件で、ここでチャンピオン獲るっていうのがあって、あと日本一決定戦も出るんで、まずはチャンピオン獲って、次につなげたいです」



■決勝レース



予選の後、ポツリポツリと雨が降ったものの路面コンディションを変えるまでには至らず。

決勝レースは 18 周もしくは 30 分で競われる。予選では総合 4 番手だったはずの #14 鈴木選手ながら、結果が発表されると 2 グリッド降格が。赤旗提示中の追い抜きがペナルティの対象となったのだ。そのため、#72 須藤選手と #48 石井選手が、ひとつずつポジションを繰り上げることに。

もうすっかりスタートも得意となった、ポールシッターの #52 酒井選手が絶妙のダッシュを決めたのに対し、#77 光山選手がやや出遅れてしまう。その #77 光山選手を 1 コーナーでアウトから抜こうとした #51 切替選手だったが軽く接触。その時、インを刺しに行ったのが #48 石井大雅選手。第 1ヘアピンで #77 光山選手には抜き返された #48 石井選手だったが、#51 切替選手は抑え切る。そんな後方の争



いに目をくれることなく、トップの #52 酒井選手は 1 周目を終えると、もう 1 秒 3 ものリードを確保。そのままファステストラップを更新しながら逃げていく。5 周目を過ぎたところで #77 光山選手も後続を 1 秒離す格好となるも、3 番手争いはなおも激しく続き、#48 石井選手、#51 切替選手、そして #14 鈴木選手の順で縦一列。そこから少し離れて、#72 須藤選手と #3 秋山選手、#15 相田有羽音

選手(ZAP SPEED 10VED)が、スーパーFJ の 2 番手を競い合っていた。14 周目を終えたところで、トップ #52 酒井選手のリードは 8 秒 2 にまで拡大。4 周を残していることから、10 秒差でのフィニッシュ

ユも夢ではないと思われた。しかし、その直前の1コーナーで中団2台の接触があり、うち1台がストップ。セーフティカー(SC)が導入されて、せっかくの#52 酒井選手の大量リードも水の泡に。それでも、それぞれの間隔が詰まったこともあり、リスタートが切られれば、こう着状態も崩れて順位変動も生じたかもしれない。しかし、1周が短く退避路のない筑波だけに、車両回収はスムーズに進まず。結局、SC 先導のままチェッカーが振られ、#52 酒井選手が 5 勝目をマーク。2 位の#77 光山選手は6戦連続で表彰台に立ち、筑波・富士シリーズには今年初参戦の#48 石井選手が、貴重なチャンスをものにすることに。FJ1500 のクラス 4 位は#14 鈴木選手が獲得。



そして、惜しくも総合での表彰台には立てなかったものの、スーパーFJ では 6 連勝を飾って、#51 切替選手が筑波・富士シリーズのチャンピオンを獲得！ 祖父は RSD の代表で、フェラーリ使いとして知られる切替徹氏で、父親の隆喜氏は FJ1600 やシビックで、そして叔父の優太氏は JAF-F4 で、それぞれ 2000 年代に活躍した、まさにレーシングファミリーの一員が、まずひとつタイトルを獲得した。

「マスタースクラス」のトップは#3 秋山選手(スーパーウインズ KKS2)で、2 位が#87 山本龍選手(おさきにどうぞ KK-F)で、3 位の#16 青合正博選手(HERO'S Rn-Sports)は、依然ランキングのトップを守っている。ちなみに#16 青合選手は今回が筑波初レース。「金曜日に 30 分2回走っただけで、もう本番」だったが、普段とはまったく毛色が異なるサーキットを走ったことで、多くの収穫が得られたようだ。



次回の「FJ ジャパンリーグ」は 9 月 13 日(日)にオートポリスで開催される。激戦を大いに期待したい。



優勝(FJ1500): #52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「メッチャちぎってやろうと思ったんですが、SC 入って結局こうなっちゃったんですが、勝てて良かったです。この後は出られるレースは出ますが、ちょっと出られないところもあるので、なるべく出ていくようにはしていこうと思っています」

第2位(FJ1500): #77 光山勇正選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)

「スタートをミスっちゃって、それがいちばんいけないところでした。ちょっと危なかったですけど、なんとか守れて良かったです。もうちょっと行けるかと思ったんですけど、さすがに悔しいですね」

第3位(FJ1500): #48 石井大雅選手(ファーストガレージ KK-F)

「けっこうスタートもうまくいって、クラッチもしっかりミートして1台抜いて、スーパーFJの切替選手が外側行っていたんで、それでインを突いたという感じです。ちょっとペースが良かったので、最後、周回遅れかな？ 引っかかって、それで縮まったのもあったんですが、SC が出てしまって、それで終わってしまったんで、まあ、ほとんどスペースはなかったんで、そこは次出る機会があったら、改善すべきポイントだと思っています」



「マスタースクラス」の表彰台 左から2位山本選手 1位秋山選手 3位青合選手



Rd.1	5月17日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップレース
Rd.2	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.3	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.4	7月18日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップレース
Rd.5	8月30日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.6	9月13日	オートポリス	ゴールドカップレース
Rd.7	10月4日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月22日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース

[illegible]

2026 TSUKUBA Challenge Clubman Race Round-3 2026,8,29-30

**VICIC**

主催：VICIC : 協賛：JAF・JAF/JAF
公認：日本自動車連盟 (JAF)
コホ：筑波サーキット・J.2000

JAF筑波/富士スーパーFJ/FJ1500選手権シリーズ 第4戦・FJジャパンリーグ Rd.5



Tsukuba Circuit(2,045m)

FJ1500/S-FJ 公式予選

2026 / 8 / 30 :

正式予選結果表

Weather : 曇り

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	52	FJ1500	1	酒井 剛太	ファーストガレージ	KK-F	57.889	6 / 11		127.174
2	77	FJ1500	2	先山 勇正	Faレーシング丸和精光KK-F	KK-F	58.143	7 / 13	0.254	126.619
3	51	S-FJ	1	切替 悠喜	ファーストガレージRSD制動屋	KKs II	58.287	8 / 13	0.398	126.306
*1 4	14	FJ1500	3	鈴木 大翔	ZAP SPEED KK-F	KK-F	58.530	6 / 13	0.641	125.782
5	72	S-FJ	2	須藤 叶多	ELEVレーシングKKs II 制動	KKs II	58.639	8 / 12	0.750	125.548
6	48	FJ1500	4	石井 大雅	ファーストガレージKK-F	KK-F	58.738	8 / 12	0.849	125.336
7	3	S-FJM	1	秋山 健也	スーパーウイングKKs2	KKs II	58.865	9 / 12	0.976	125.066
8	15	S-FJ	3	相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	58.935	5 / 12	1.046	124.917
9	22	S-FJ	4	内藤 大輝	RaiseUP GO&FUN	KKs II	58.944	7 / 13	1.055	124.898
10	87	FJ1500M	1	山本 龍	おききにどうぞ4KK-F	KK-F	59.049	9 / 12	1.160	124.676
11	23	S-FJ	5	宇高 希	ティタ エスエーティー	RD10V	59.339	7 / 12	1.450	124.067
12	13	FJ1500	5	デワング/スリファ	InfernoRKK-F	KK-F	59.518	7 / 9	1.629	123.694
13	16	FJ1500M	2	青倉 正博	HERO'S RnSports	FJ1500	59.623	7 / 12	1.734	123.476
14	39	S-FJM	2	池田 悠亮	トッパランク スーパーウイング	KKs II	59.784	8 / 12	1.895	123.143
15	4	S-FJM	3	古里 拓	HOLOSレーシング	KKs II	59.943	9 / 12	2.054	122.817
16	91	S-FJ	6	鶴岡 富政	ELEVレーシング10VED	スーパー-FJ	1'00.139	6 / 11	2.250	122.416
17	8	S-FJM	4	比07キ	ZAP エース・タイムマシン競速	RD10V	1'00.354	9 / 12	2.465	121.980
18	11	S-FJ	7	長坂 圭一郎	ARFラップEIJ☆RD10V	RD10V	1'01.209	7 / 12	3.320	120.276

***** 以上予選通過 (FJ1500 : 1'15.643 - 130% /S-FJ : 1'16.176 - 130%) *****

Entry :18 Start :18

*1 No.14は、筑波サーキット一般競技規則 第17条 3.違反(赤旗時追い越し)により、20'リット降格とする。

※赤旗提示 09:30'09 - 09:37'54



Tsukuba Circuit(2,045m)

FJ1500/S-FJ 決勝

正式決勝結果表

2026 / 8 / 30 :

Weather : 曇り

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Lap	Total Time	Gap	Best Time	Lap	Ave. Km/h
1	52	FJ1500	1	酒井 翔太	ファーストガレージ	KK-F	18	22'08.696		58.058	7 / 18	99.884
2	77	FJ1500	2	光山 勇正	F&レーシング丸和精光KK-F	KK-F	18	22'07.498	0.802	58.480	6 / 18	99.824
3	48	FJ1500	3	石井 大雅	ファーストガレージ/KK-F	KK-F	18	22'08.148	1.452	58.477	11 / 18	99.775
4	51	S-FJ	1	切替 悠喜	ファーストガレージ/RSD制動屋	KKS II	18	22'08.845	2.149	58.620	12 / 18	99.723
5	14	FJ1500	4	鈴木 大翔	ZAP SPEED KK-F	KK-F	18	22'08.845	2.149	58.564	8 / 18	99.723
6	72	S-FJ	2	須藤 叶多	ELEVレーシング/KKS II 制動	KKS II	18	22'10.327	3.631	59.102	9 / 18	99.612
7	3	S-FJM	1	秋山 健也	スーパーラインズ/KKS2	KKS II	18	22'11.313	4.617	59.169	9 / 18	99.538
8	15	S-FJ	3	相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	18	22'11.515	4.819	58.791	6 / 18	99.523
9	87	FJ1500M	1	山本 龍	おさきにどうぞ 4KK-F	KK-F	18	22'11.862	5.166	59.394	7 / 18	99.497
10	16	FJ1500M	2	青倉 正博	HERO'S RnSports	FJ1500	18	22'12.338	5.642	59.750	8 / 18	99.461
11	39	S-FJM	2	池田 悠亮	トヨタレーシング スーパーラインズ	KKS II	18	22'13.798	7.102	59.830	8 / 18	99.352
12	13	FJ1500	5	テワン クリストファー	InfemoR/KK-F	KK-F	18	22'14.647	7.951	59.930	8 / 18	99.289
13	91	S-FJ	4	鶴岡 寛政	ELEVレーシング 10VED	スーパー-FJ	18	22'14.905	8.209	59.956	8 / 18	99.270
14	8	S-FJM	3	比074	ZAP エターナリティン競速	RD10V	18	22'15.856	9.160	1'00.648	7 / 18	99.199
15	4	S-FJM	4	古里 拓	HOLOSレーシング	KKS II	18	22'16.114	9.418	59.901	7 / 18	99.180
16	11	S-FJ	5	長坂 圭一郎	ARF777&EIJ☆RD10V	RD10V	17	22'10.133	1Lap	1'01.259	7 / 17	94.091
*1 17	23	S-FJ		宇高 希	ティク エスエーシー	RD10V	15	22'16.642	3Laps	59.368	7 / 16	82.617
***** 以上出走 (FJ1500 : 16Laps /S-FJ : 16Laps) *****												
	22	S-FJ		内藤 大輝	RaiseUP GO&FUN	KKS II	13	13'04.767	5Laps	59.468	12 / 13	121.955

Fastest Lap

FJ1500	58.058 (7 / 18)	126.804 km/h	52	酒井 翔太 / ファーストガレージ
FJ1500M	59.394 (7 / 18)	123.952 km/h	87	山本 龍 / おさきにどうぞ 4KK-F
S-FJ	58.620 (12 / 18)	125.589 km/h	51	切替 悠喜 / ファーストガレージ/RSD制動屋
S-FJM	59.169 (9 / 18)	124.423 km/h	3	秋山 健也 / スーパーラインズ/KKS2

Start Time : 11:05:30 Finish Time : 11:27:37.544

Entry : 18 Start : 18 Finish : 17

*1 No.23は、筑波サーキット一般競技規則 第20条 6.b違反(危険なドライブ行為)により、1周減算とした。

※SC導入時刻 11:19:58 (15LAP) ~ 11:27:37 (18LAP)

